



かしはら 長野と榎原、 女性たちの出会いから広がる 地域の未来

9月3日、奈良県の榎原（かしはら）商工会議所「女性経営者ビジネス研究会」の皆様と事務局、計8名を長野商工会議所にお迎えし、交流事業を開催しました。

今回の交流のきっかけは、2025年10月に開催された「日本女性会議2025榎原」。当所の塚田副会頭が同大会に参加したことから交流が始まり、今回の訪問へとつながりました。

当日は、双方の活動を紹介。長野からは「NAGANO働く女性会議」と、そこから生まれた企業横断型キャリアアップ支援プロジェクト「ナガハロ」を紹介しました。一方、榎原からは「女性経営者ビジネス研究会」の活動を紹介。多彩な職種のメンバーが、それぞれの専門性を生かし、「カッコいい歩き方」や「手土産の選び方」など実務に役立つセミナーを自ら企画するなど、活発な活動に刺激を受けました。

また、「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録に



向けた榎原の取り組みや、善光寺、御開帳、「NAGANO検定」など長野の地域資源についても情報交換。歴史・文化の魅力を生かし、地域の活性化につなげるという共通点を確認しました。

後半は円形模造紙「えんたくん」を使ったおためしワークショップ。「最近の悩みは？」をテーマに、健康や介護、仕事とプライベートの両立などについて語り合い、書きながら考え、参加者同士で共有できる「えんたくん」の有用性も実感していただきました。



会場には関西の言葉が飛び交い、長野にいながら異文化に触れるような新鮮な刺激も。女性の感性や専門性、人とのつながりを地域の力へ—今回の交流をきっかけに、両地域のさらなる連携と発展が期待されます。